



「いのち」の声を聴く スピリチュアル支援論

支援の現場における霊的ケアの実際

『「いのち」の声を聴く』（スピリチュアル支援論）をテーマにした無料公開講座が10月7日、金光教を「建学の精神」の基盤にする関西福祉大学（兵庫県赤穂市）で始まった。講師は、貧困、震災、末期がん…といった「生と死の臨界」の現場で、「いのち」の声を聴き、「まごころ」のケアを実践している人ばかり。同大学では、医療・介護従事者、「いのち」の問題に直面する人々をはじめ、本教信奉者にも広く参加を呼び掛けている。



関西福祉大学 公開講座

関西福祉大学は、金光教祖の教えに基づく教育を目指す学校法人関西金光学園（大阪府高槻市）が平成9年に、赤穂市の協力を得て開設した。社会福祉、看護、発達教育の3学部と社会福祉学、看護学の大学院を設け、未来の福祉社会を創造する人材の育成に取り組んでいる。また学生、

教員は、地域住民を対象とした健康増進や学習援助のイベントの実施や、毎年、忠臣蔵パレードで盛り上がる赤穂義士祭への協力など、開学以来、地域との連携に力を入れている。

今回の講座は、同大学初の公開形式で、スピリチュアル論というテーマも初めて。社会福祉学部2年生と一般参加者が、医療、福祉、災害支援の現場でのスピリチュアル（霊的）ケアの実際を学ぶ。全15回で、1回のみの聴講も可能。

関西福祉大学 公開講座 全15回

- 日程 平成27年10月7日から平成28年1月20日までの水曜日（平成27年12月19日のみ土曜日に開催）
- 時間 午後1時から2時30分までの90分
- 会場 関西福祉大学（赤穂市新田380-3）1号館118教室
- 聴講方法 事前の申し込みは不要で、直接教室へ1回のみの聴講も可能。聴講料は無料
- 問い合わせ先 関西福祉大学／TEL 0791-46-2525（代）へ。担当者／社会福祉学部・中村剛教授
- 交通 JR播赤穂駅前から午前10時15分、午後0時11分、同44分に大学行きスクールバスが発車する（所要約8分、無料）

日付	担当者	スケジュール
10月7日【終了】	中村 剛	（オリエンテーション）
10月14日【終了】	渡辺 順一	社会におけるスピリチュアル支援
10月21日【終了】	入佐 明美	
10月28日（水）	川浪 剛	
11月4日（水）	渡辺 順一	
11月11日（水）	中村 剛	（まとめ）
11月18日（水）	竹内 真治	震災とスピリチュアル支援
11月25日（水）	竹内 真治	
12月2日（水）	中下 大樹	
12月9日（水）	中村 剛	（まとめ）
12月16日（水）	桑山 浩明	臨床場面におけるスピリチュアル支援
12月19日（土）	沼野 尚美	
1月6日（水）	三浦 紀夫	
1月13日（水）	桑山 浩明	
1月20日（水）	中村 剛	
		（全体まとめ）

それぞれの現場で役立てて

社会福祉学部教授。専門は福祉哲学で、福祉実習の指導も行う。今年9月、日本の福祉の先覚者の業績を体系づけて再確認した著書『福祉哲学の継承と再生―社会福祉の経緯をいま問い直す―』（ミネルヴァ書房）で、日本社会福祉学会学術賞を受賞した。

今回の公開講座では、初回にオリエンテーション、途中2回と最終回には、参加者と共に講師の話をもとめながら、スピリチュアルケアについて考えを深めていく。

私自身は日頃、担当している授業「生と死の教育」で、1年生に「いのち」の重みと「死」とは何かを教えています。今回のスピリチュアル論講座は、医療・福祉の現場でどのような「生と死」のケアが行われているか、特にスピリチュアルな面でのケアはどうなっているかを、宗教をベールに実践されている講師からじかに伺えます。



大学担当者 中村 剛氏（52歳）

15.10.25

金光新聞